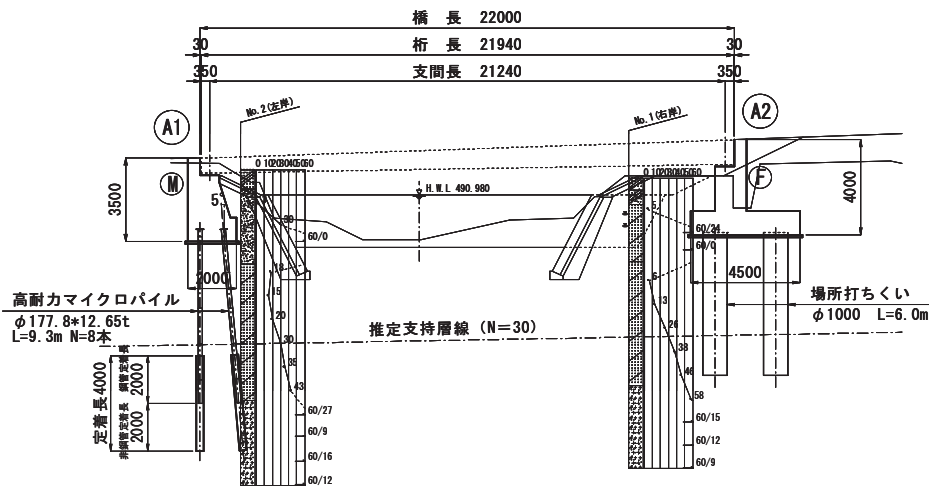


用途	新設橋台基礎	<p>工事の特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本物件は、新設橋台の基礎として高耐久マイクロパイルが採用された工事である。施工ヤードの広いA2橋台には場所打ち杭が採用されたが、民家が近接しているA1橋台は大型機械を使用する場所打ち杭での施工が困難であるため、小型機械で施工可能な高耐久マイクロパイルが採用された。 ・現地の土質は新設フーチング下面から約1mの深度まで300~1000mmの転石が多数存在しており、削孔開始直後の杭心のずれが懸念された。そこで、ガイド管(VU300)を事前に設置し、これを貫通させてHMPを打設することで杭の打設精度を確保した。 ・杭長が9.3mと短く空頭制限もない条件で、かつ、施工ヤードも比較的広く確保可能であったことから、事前に鉄筋(全長9.5m)を地組し、クローラークレーンで一括挿入して、施工時間の短縮を図った。
工事名	森脇越峠線 森脇橋(橋梁第1号岩野辺森脇橋整備工事)	
工事場所	兵庫県穴栗群千種町岩野辺	
発注者	兵庫県千種町役場	
施工時期	平成16年11月	
杭形状	前杭:斜杭5° 9.3m×4本 後杭:直杭 9.3m×4本	
杭延長	74.4m	
鋼管仕様	API N-80 φ177.8×12.65t	
標準鋼管長	1.5m	
鉄筋仕様	SD490 D51	
標準鉄筋長	2.0m	
削孔方式	ロータリーパーカッション二重管方式	
削孔機	クローラタイプ(TDH-100)ノーマルブーム	
空頭制限	なし	
上層地盤	玉石混り砂礫、粘土混り砂	
定着地盤	風化花崗岩	

補強概要図



施工状況写真



現場全景



施工状況

施工状況写真



着工前全景



完成時全景



ガイド管(VU300×1.0m)



ガイド管設置完了



削孔状況



削孔状況



鉄筋組立状況



鉄筋挿入状況